

日本少年野球
第2回

石井琢朗杯

選抜中学野球佐野大会



(写真提供 サンフィールド)



佐野ブランドキャラクター
さのまる

佐野市

公益財団法人 日本少年野球連盟栃木県支部

日本少年野球第2回石井琢朗杯選抜中学野球佐野大会

- 1 主催 (公財) 日本少年野球連盟 栃木県支部
- 2 後援 佐野市・下野新聞社・とちぎテレビ・報知新聞社
共同写真企画
- 3 協賛 ミズノ(株)
- 4 協力 広島東洋カープ
- 5 目的 佐野市出身で広島東洋カープ石井琢朗守備走塁コーチのプロ野球現役引退を記念し、その功績を称えると共に野球をとおして青少年の健全育成と交流を図ることを目的とする。
- 6 大会期日 平成27年5月17日・23日・24日・30日(予備日)
- 7 開会式 平成27年5月17日 午前8時
佐野市運動公園野球場(受付午前7時開始)
閉会式 平成27年5月24日 決勝戦終了後 佐野市運動公園野球場
- 8 使用球場 佐野市運動公園野球場・佐野市田沼グリーンスポーツセンター野球場・佐野市中運動公園野球場・館林城沼公園野球場・栃木市総合運動公園
- 9 試合方式 トーナメント方式
- 10 試合規則 本大会規定並びに(公財)日本少年野球連盟大会規定に準ずる
- 11 試合参加資格 2015年度(公財)日本少年野球連盟登録チーム所属の登録選手(スポーツ安全傷害保険等に参加していること)で11名以上25名以内とする
- 12 選手登録 大会当日、選手登録書を5部提出
- 13 審判員 各チーム2名の審判員を帯同する
- 14 その他 団旗及びプラカードをご持参ください

石井琢朗 の歩み

1970 年	佐野市犬伏上町にて、石井菊次郎・栄さん夫妻の長男として誕生（ 8.25 ）
1979 年	父が監督を務める「犬伏学童クラブ」で野球をはじめる（小学 3 年生）
1982 年	佐野市の大会で春夏優勝、栃木県学童野球大会で準優勝、北関東大会では優勝 （小学 6 年生）
1987 年	県立足利工業高校の 2 年生エースピッチャーとして、夏の甲子園出場
1989 年	ドラフト外で大洋ホエールズに投手として入団 プロ野球初出場 背番号『 66 』 一軍初登板（ 4.13 広島東洋カープ戦） 初先発初勝利（ 10.10 ヤクルト戦（神宮） 8 回 1/3） 初安打（ 10.10 ヤクルト戦（神宮） 加藤投手）
1992 年	野手転向 登録名を『琢朗』に変更
1998 年	38 年ぶりのリーグ優勝、日本一。最多安打、盗塁王、ゴールデングラブ賞（遊撃手部門）ベストナイン（遊撃手部門）
2006 年	2000 本安打（ 5.11 楽天戦 ） 史上 34 人目 *勝利投手経験のある選手として川上哲治以来 2 人目 県民栄誉賞受賞 市民栄誉賞受賞
2012 年	現役最終公式戦（ 10. 8 横浜 DeNA 戦 ）

生涯打率 2 割 8 分 2 厘

2413 試 合	8638 打 数	2432 安 打	102 本塁打	670 打 点
358 盗 塁	289 犠 打	930 四 球	82 死 球	1234 三 振

投手成績

28 試合	1 勝 4 敗 0 セーブ	防御率 5.69
-------	---------------	----------

獲得タイトル

ベストナイン	5 回	（遊撃手 1997 年～ 2001 年）
ゴールデングラブ賞	4 回	（三塁手 1993 年～ 1995 年 ； 遊撃手 1998 年）
日本シリーズ優秀選手賞	1 回	（ 1998 年）
盗塁王	4 回	（1993、1998、1999、2000 年 ）
最多安打	2 回	（1998、2001 年 ）

その他記録

オールスターゲーム出場	6 回	（1995、1997、1998、1999、2000、2001 年）
1 試合 6 得点		（1999. 7. 22 ）日本タイ記録、セリーグ記録
1 試合 4 犠打		（2003. 7. 8 ）日本タイ記録
シーズン 150 安打以上	9 回	（1997～2002 年、2004 ～2006 年）歴代 2 位タイ
6 年連続シーズン 150 安打以上		（1997～2002 年） 歴代 2 位タイ セリーグタイ
全球団から本塁打		史上 17 人目

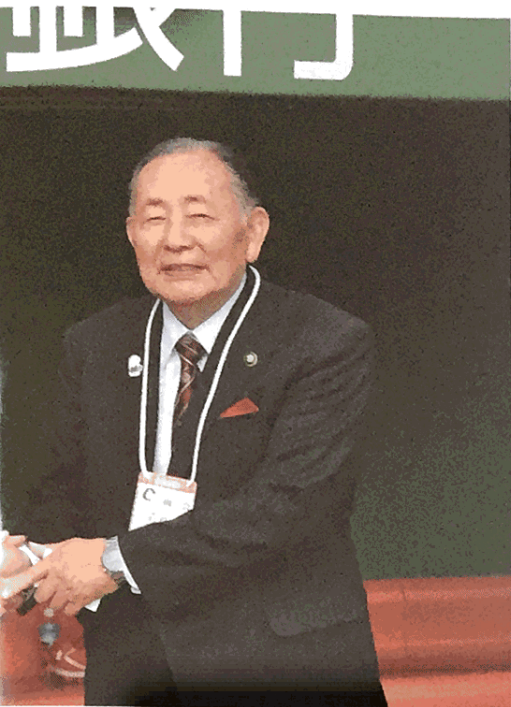
石井琢朗氏メッセージ

—今が大切—



石井琢朗杯選抜中学野球佐野大会に参加してくださった選手、ファンの皆さん、こんにちは。また、大会の開催にご尽力いただいた関係者、保護者の皆様に対し、この場をお借りし深くお礼申し上げます。今回が第2回となります石井琢朗杯が、またこうして開催されますことを大変嬉しく思っております。ただ、今年も私自身がペナントレースの真ただ中にあるため、この場に出席することができず、皆さんのプレーを見られないことが非常に残念でなりません。選手の皆さんには、日頃からの厳しい練習の成果を十分に発揮され、若者らしくハツラツとプレーされることを期待しております。そして、この琢朗杯を闘った選手の中から、将来、一人でも多くのプロ野球選手が誕生してくれたら素晴らしいと願っております。最後に、選手の皆さんには、今が大切という言葉に胸に、野球ができるということに感謝し、今という時を一生懸命にプレーしてください。

広島東洋カープ 石井琢朗



市長あいさつ



ようこそ「スポーツ立市のまち」佐野市へお越しくださいました。

ここに多くのチームの参加をいただきまして、「第2回石井琢朗杯選抜中学野球佐野大会」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

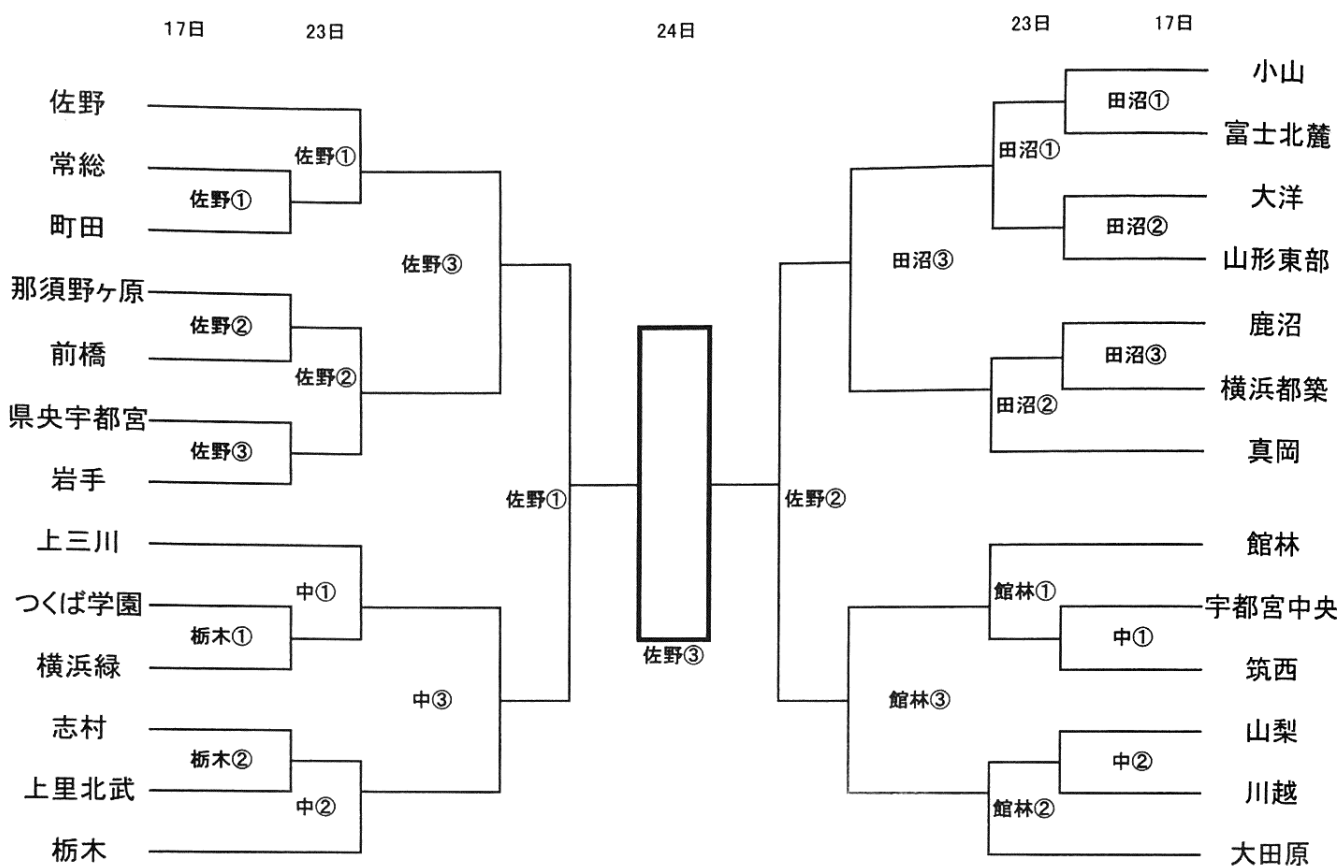
現在本市では、「育み支え合うひとびと 水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」を将来像として、スポーツ立市の推進をリーディングプロジェクトとして位置付け、するスポーツ、観るスポーツ、支えるスポーツなど様々な形でスポーツに親しみ、観光立市と並ぶ交流拠点都市としてのまちづくりを推進しております。

本市の名誉市民でありますプロ野球選手石井琢朗氏の功績を顕彰し、昨年より開催いたしておりますが、参加される各チームとも、普段の厳しい練習を通して培った実力をいかんなく発揮し、観ている方々に感動を与えられるようなプレーが随所に展開されることを期待しております。

結びになりますが、本大会開催にあたり、多大なるご尽力をいただいた公益財団法人日本少年野球連盟栃木支部をはじめ、関係者の皆様のご厚意に感謝申し上げます。

第2回日本少年野球石井琢朗杯選抜中学野球佐野大会

5月17、23、24日



初日 佐野市営
第1試合 10時
第2試合 12時
第3試合 14時

他球場
第1試合 11時
第2試合 13時
第3試合 15時

2・3日
第1試合 9時
第2試合 11時
第3試合 13時

《使用球場》
佐野…佐野市運動公園野球場
田沼…佐野市田沼グリーンスポーツセンター野球場
中……佐野市中運動公園野球場
館林…館林城沼公園野球場
栃木…栃木市総合運動公園

日本少年野球第2回石井琢朗杯選抜中学野球佐野大会

大会名誉会長	石 井 琢 朗	広島東洋カープ
大会 会 長	岡 部 正 英	佐 野 市 長
顧 問	松 井 茂 久	東日本ブロック長
相 談 役	小 野 美 典	連 盟 理 事
大会委員長	飯 田 研 二	栃 木 県 支 部 長
大会副委員長	石 川 文 雄	栃木県支部副支部長
〃	安 形 弘 志	栃木県支部副支部長
大会運営委員長	菅 原 一 浩	栃木県支部事務局長
〃 運営副委員長	池 田 朝 美	茨城県支部長
〃	南 曲 光 弘	埼玉県支部長
〃	菅 田 一 利	東北支部長
〃	河 野 文 昭	東京都東支部長
〃	三 浦 重 人	神奈川県支部長
〃	深 沢 道 康	山梨県支部長
〃	小 西 脩智朗	東京都西支部長
〃	須 田 洋 一	群馬県支部長
運 営 委 員	大 木 聡	小山ボーイズ代表
〃	栗 田 健	佐野ボーイズ代表
〃	入 江 孝 夫	県央宇都宮ボーイズ代表
〃	森 充 広	那須野が原ボーイズ代表
〃	奥 田 美 弘	大田原ボーイズ代表
〃	田 辺 行 彦	宇都宮中央ボーイズ代表
〃	桜 井 友紀夫	真岡ボーイズ代表
〃	小 倉 悦 男	上三川ボーイズ代表
審 判 部 長	君 島 智 明	栃木県支部審判部長
審 判 副 部 長	石 下 秀 明	〃 審判副部長
〃	水 野 浩 一	〃 審判副部長
運 営 協 力	参加チーム役員及び佐野ボーイズ父母会	

日本少年野球大会規定

1. チームの登録選手…中学生の部は11名以上25名以内、小学生の部は11名以上20名以内とする。
2. 出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は平成27年度発行のものとする。
4. オーダー表記入選手20名以内および登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることが出来る。但し、各種登録証（監督、コーチ）および審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが監督・コーチは試合開始までに間にあった場合は、審査のうえベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、その時点でベンチ入りを認める。
5. チーム責任者はチーム責任者証を所持し、試合中は所定の服装で本部席にて待機する。ただし、小学生の部においては選手の管理が必要な場合があるので、希望があれば代表に限りベンチ入りを認める。チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
6. 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
7. 監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
8. 試合開始時刻60分前までに試合球場に到着し、直ちにオーダー表5部を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
9. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
10. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
11. 試合方式など
 - <中学生の部>
 - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則4.11(d)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、前記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回表終了時）10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
 - <小学生の部>
 - (1) 各試合は6回戦で行い、4回終了をもって1ド式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則4.11(d)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、前記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回（決勝戦は9回）あるいは試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
12. (1) 小学生の部投手は、1日6イニング、中学生の部投手は1日7イニング、連続する2日間で10イニングを超えて投球することはできない。
- (2) ダブルヘッダーでの連投を認めるが、中学生の部はダブルヘッダーに登板した投手、連続する2日間で合計5イニングを超えた投手（5イニングは可）及び3日間連続で登板した投手は、翌日に投手または捕手として試合に出場することはできない。
- (3) 例えば、1試合目で5回投げた場合には、次の試合で小学生の部は1回、中学生の部は2回投げることができる。ただし、端数回数（0/3回・1/3回・2/3回）は切り上げて1回とする。端数回数の0/3回は、新しいイニングに入ってから一死もとらずに降板した場合を示す。なお、小学生の部は変化球を禁止する。
- (4) 日程の変更（地区大会を含む）等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」を次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛、提出しなければならない。
13. (1) 監督またはコーチの指示・伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示・伝達を認める。（選手の怪我や交代などの指示・伝達は回数に入らない。）
- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
- (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。

- (4) 指示・伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。
14. 1イニングで同一の投手に対して指示・伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし新しいイニング入れば、再び投手として登板することができる。
 15. 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
 16. 監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと（ベンチからは駆け足で）
 17. 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
 18. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する、また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
 19. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するマネを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
 20. 小学生の部は、攻撃側チームの監督・コーチに限り、コーチボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
 21. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具【マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップ（一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く）】2組を備えること。
 22. ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
 23. 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合・練習を問わず着用すること。
 24. グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
 25. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
 26. 光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
 27. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

<参考>

●野球規則 4.11(d)

4.12(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

【タイブレーク実施細則】

(1) 特別規則

(イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。

(ニ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・ 規定により出塁した3走者は、投手の自責点としない。
- ・ 完全試合は認めない。
- ・ 無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・ 規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・ 規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

以上

野球用品は、すべて連盟指定業者のものを使用することが義務付けられています。

出場メンバー表1

栃木県支部 佐野ボーイズ	
代 表	栗田 健
監 督	勅使川原 敦
コーチ	須藤 謙司
マネジャー	串田 博
背番号	選手名
主将8	中山 晃太郎
1	加藤 雄徳
2	遠藤 紘太
3	菊地 真人
4	内田 虹
5	大関 克歩
6	大川 拓実
7	福田 拓未
9	金子 成那
10	三宅 康允
11	小沼 尚輝
12	山本 聖生
13	越智 兆由
14	片倉 大輝
15	仙田 力規
16	中島 尚斗
17	岡部 一輝
18	田所 央
19	鈴木 慶也
20	小堀 蓮太

茨城県支部 常総ボーイズ	
代 表	大平 和正
監 督	山田 正樹
コーチ	渡辺 達巳
マネジャー	前田 時芳
背番号	選手名
主将 4	名越 優真
1	小川 航平
2	谷合 俊亮
3	海老原 仁
6	森 崇貴
7	羽生 悠太
8	森澤 優星
9	伊藤 駿
10	北澤 太陽
11	高見澤 輝流
12	小林 呂生
13	佐藤 晴海
14	藤山 掌
15	萱沼 悠人
16	野島 聖良
17	飯田 賢人
18	島崎 光汰
19	伊藤 輝
20	谷合 祐紀
21	青木 景雅
22	白鳥 真之介
23	金澤 隼佑
24	小田嶋 奏太
25	堀内 詢馬
26	佐藤 連恩

東京都西支部 町田ボーイズ	
代 表	武藤 和宏
監 督	藤原 徹
コーチ	毎原 啓太
マネジャー	糸田 純
背番号	選手名
主将57	北川 魁星
2	千葉 璃人
5	板垣 雄彦
6	石井 雅也
13	舘野 一真
16	糸田 栄輝
31	赤塚 琳
33	小川 渉太郎
36	山下 航希
38	小出 修平
39	原田 大地
43	田辺 真生
44	中山 望夢
46	茂呂 拓海
62	長谷川 公哉

栃木県支部 那須野ヶ原ボーイズ	
代 表	森 充広
監 督	坪井 幸夫
コーチ	君山 陽平
マネジャー	栗田 博
背番号	選手名
主将2	白倉 懐
1	鈴木 海斗
3	白倉 義康
4	印南 朝陽
5	井上 孝悟
6	栗田 健太郎
7	小田部 夏好
8	遠藤 匠真
9	平山 大輔
10	津久井 駿
11	高橋 由伸
12	平野 隆紀
13	柳田 晋吾
14	佐々木 大城
15	加藤 帝人
16	丹 明敏
17	山口 学人
18	大河内 陸斗
19	後藤 大翔
20	藤田 好輝

群馬県支部 前橋ボーイズ	
代 表	佐藤 佳久
監 督	木間 晴彦
コーチ	栗原 光久武
マネジャー	岡田 一利
背番号	選手名
主将22	戸塚 啓斗
3	野口 圭介
4	新井 千尋
6	早坂 晴
7	小倉 隼
15	山崎 梓月
21	水沼 樹
23	松本 晋児
28	小池 侑生
32	森下 祐助
37	加藤 久典
51	中島 佳桓
55	林 凌
56	八重樫 航
70	坂本 大樹
72	大山 将太
88	本多 隆人
91	春原 廣大
95	春原 廣陽

出場メンバー表2

栃木県支部 県央宇都宮ボーイズ	
代 表	入江 孝夫
監 督	影山 崇
コーチ	半田 浩範
マネジャー	石戸 渉
背番号	選手名
主将10	大島 洸飛
1	福田 唯人
2	吉原 大貴
3	三沢 康太郎
4	間庭 大喜
5	大島 未来
6	石田 拓海
7	永谷 春道
8	篠江 瑛
9	岩崎 翔飛
11	植木 蓮
12	菊池 進一朗
13	上野 緩太
14	大房 隼
15	布施 陽希
16	松原 寛明
17	藤生 拓
18	松木 祥悟
19	大垣 未尋
20	川上 晴大
21	石川 優斗
22	笠原 球斗
23	新井 貫太
24	池田 健悟
25	廣田 直希

東北支部 岩手ボーイズ	
代 表	千葉 正
監 督	曾根 勉
コーチ	阿部 修英
マネジャー	菅原 啓人
背番号	選手名
主将5	佐藤 遥
1	阿部 秀俊
2	岩渕 将生
3	及川 由喜
4	佐藤 佑也
7	菅原 優晟
8	及川 裕作
9	千葉 大介
10	藤原 遼人
11	加藤 大成
12	菊池 智貴
13	熊谷 竜二
14	鈴木 駿汰
15	及川 礎良
16	千葉 楽斗
17	石川 純平
18	平野 拓夢
20	菅原 風晏

栃木県支部 上三川ボーイズ	
代 表	小倉 悦男
監 督	臼井 康宏
コーチ	横倉 秀紀
マネジャー	菅野 友規
背番号	選手名
主将 2	小田桐 大
1	菅野 雄斗
3	齋藤 真央
4	松本 大輝
5	渡辺 和貴
6	小林 龍季
7	山田 蒼太
8	長江 祥樹
9	石渡 聖大
10	平山 雄介
11	野口 大喜
12	宇津木 帝凱
13	高橋 輪大
14	岡部 開翔
15	久保田 隼
16	臼井 亜由夢
17	菱沼 理乃
18	林 勇成
19	横倉 諒
20	渡邊 大介
21	中嶋 大晟
22	羽石 将英
23	絹川 友大
24	千葉 進之介
25	岡田 紳之介

茨城県支部 つくば学園ボーイズ	
代 表	小島 幸司
監 督	山田 征紀
コーチ	大塚 真司
マネジャー	星野 直樹
背番号	選手名
主将10	鴻巣 理久
0	中村 匠真
1	宇津野 諒介
2	理崎 快成
4	小林 大地
7	大橋 凌斗
8	青木 優太
11	佐野 翔
12	飯島 康太
13	軽部 拓己
14	長谷川 拓海
15	五味 佑太
17	忍田 悠輔
18	稲葉 遥
19	中山 篤
20	山本 和哉
24	後藤 真宙
25	関 悠太郎
26	小野村 昌弥
28	鶴見 弦大
31	星野 佑騎
36	大崎 凌輔
39	萩島 玲

神奈川県支部 横浜緑ボーイズ	
代 表	金子 真吾
監 督	斉藤 秀光
コーチ	中井 京平
マネジャー	南平 健一
背番号	選手名
主将4	中村 太耀
1	宮 海士
2	南平 航己
3	柴田 琉聖
5	半田 翔太郎
6	高橋 建心
7	小山 翔也
8	代田 勝大
9	金城 飛龍
10	富田 冬馬
11	高木 凌
12	野村 一真
13	岩渕 怜央
14	本田 遼馬
15	小林 寛治
16	喜田 尚呂
17	中井 暉
18	中村 淳太
19	石綿 唯人
20	鈴木 理央
21	石井 温也
22	佐藤 翔摩
23	五島 健太
24	加藤 大樹
25	似内 翔

出場メンバー表3

東京都東支部 志村ボーイズ	
代 表	内田 文男
監 督	佐野 稔
コーチ	菅我部 雄太
マネジャー	近藤 亨
背番号	選手名
主将 1	倉持 健太
2	田谷野 拳世
3	野口 貴史
4	中道 泰斗
5	小西 雄登
6	原 俊介
7	川野 龍斗
8	持田 寛
9	島田 一輝
10	高橋 一樹
11	武石 知大
12	井村 成哉
13	阿部 晃大
14	佐藤 泰地
15	野村 要
16	中村 裕次郎
17	林 政徳
18	田中 友規
19	前田 奨悟
20	大漣 凜世リー
21	西川 拓斗
22	中島 優作
23	問矢 大雅
24	中野 翔斗
25	原田 龍生

埼玉県支部 上里北武ボーイズ	
代 表	金井 修一
監 督	秋山 和哉
コーチ	中村 宇大
マネジャー	金井 大樹
背番号	選手名
主将 1	河北 将太
2	金井 優斗
3	田村 凌也
4	熊田 怜音
5	真下 力也
6	金井 涼之助
7	江原 昂希
8	斉藤 翔
9	渡邊 雄大
10	對馬 拓海
11	井手 笙貴
12	三浦 隆太郎
13	高橋 勁太
14	大畠 晟志郎
15	松村 紘希
16	田中 恵渡
17	関口 朝仁
18	内田 大輔
19	熊田 唯音
20	高橋 篤生

栃木県支部 栃木ボーイズ	
代 表	安形 弘志
監 督	須藤 勝彦
コーチ	石川 和人
マネジャー	田中 浩
背番号	選手名
主将 4	小林 龍憲
1	中島 鴻太
2	葭葉 幸二郎
3	田名網 祐太
5	飯田 雅也
6	森田 隆弘
7	上岡 勇輝
8	毛塚 大陽
9	坂村 将志
10	益子 瑞樹
11	大内 陸
12	柏崎 大輝
13	酒巻 栄一郎
14	橋本 陽菜多
15	増田 尊
16	山崎 剛志
17	安形 颯太
18	大橋 達也
19	大栗 拓也
20	臼井 陽生
21	生井 伶司
22	江連 壮馬
23	石川 亮祐
24	落合 玲音
25	臼井 幹大

栃木県支部 小山ボーイズ	
代 表	大木 聡
監 督	新島 勉
コーチ	高久 敏之
マネジャー	高橋 成雄
背番号	選手名
主将 9	種谷 陸
1	江藤 大樹
2	大柿 廉太郎
3	竹川 大稀
4	大塚 璃音
5	関 拓海
6	金子 凌
7	五十畑 亮汰
8	高橋 朕次
10	永島 竜弥
11	羽鳥 祐希
12	秋葉 駿平
13	関口 康介
14	生沼 佑太
15	山崎 寛大
16	齋藤 正悟
17	横塚 一晟
18	峰 圭哉
19	大里 大也
20	久保田 悠斗
21	鶴見 凌也
22	中山 琉唯
23	小倉 奨真
24	仲三河 優太
25	朝井 優太

山梨県支部 富士北麓ボーイズ	
代 表	貝原 茂
監 督	宮下 博
コーチ	中田 誠志
マネジャー	渡辺 正彦
背番号	選手名
主将 5	勝又 蓮
1	大森 源士
2	舟久保 寛太
3	羽田 広大
4	柏木 良介
6	桜井 レオ
7	井上 圭亮
8	舟窪 大輝
9	勝俣 裕貴
10	小松 優太
11	羽田 陸馬
12	天野 泰成
13	土屋 清春
14	羽田 潤二
15	片山 凌
16	宮田 英美
17	羽田 優祈
18	古西 祐羽
19	舟窪 悠真

出場メンバー表4

[illegible]

東北支部	
山形東部ボーイズ	
代表	上野 正蔵
監督	茂木 武
コーチ	斉藤 康男
マネジャー	安孫子 正義
背番号	選手名
主将6	押切 翔飛
1	町田 慶司朗
2	横尾 翼
3	町田 眞太郎
4	鹿野 航生
5	古澤 巨次郎
7	日下部 友基
8	尾形 大輝
9	閏間 一昂
10	工藤 翔也
11	芳賀 健人
12	相馬 尚
13	長澤 遼紀
14	安孫子 良磨
15	堀江 聖仁
16	香曾我部 蒼磨
17	柏倉 純太郎
18	松田 大和
19	尾形 大地
20	町田 紘司朗

	栃木県支部
	鹿沼ボーイズ
代表	石川 文雄
監督	山井 誠
コーチ	中村 勝則
マネジャー	中村 行則
背番号	選手名
主将4	大柿 迅翔
1	小峯 弘誠
2	江田 能規
3	中村 将也
5	菅野 竜希
6	井上 進平
7	飯島 大和
8	田嶋 俊輔
9	吉野 ヨシ昭
10	丸山 翔
11	山田 翔太
12	阿部 堅斗
13	相原 かれん
14	萩野 芳海
15	山田 直樹
16	八木澤 誉人
17	船越 雄浩
18	狐塚 洋諄
19	宇賀神 暁
20	立本 大柵
21	大場 黎也
22	渡邊 冬偉
23	本田 直暉
24	須藤 健二郎
25	小林 大河

[illegible]

栃木県支部	
真岡ボーイズ	
代表	櫻井 友紀夫
監督	朝山 憲重
コーチ	佐伯 孝志
マネジャー	佐藤 浩映
背番号	選手名
主将2	石島 温太
1	青木 亮磨
3	大塚 寿希也
4	江川 麗音
5	山田 大翔
6	山崎 勇武
7	前畑 大樹
8	半田 幸太
9	金子 進之助
10	上野 風翔
11	進藤 昴汰
12	糸井 凌
13	前畑 宙樹
14	澤山 大樹
15	石坂 尚勢
16	大塚 湊太
17	佐伯 尚吾
18	上野 直輝
19	郡司 宝力
20	舘野 彪馬
21	黒澤 颯
22	藤田 尚也
23	大村 遼

出場メンバー表5

群馬県支部 館林ボーイズ	
代 表	照内 政信
監 督	小川 修弘
コーチ	齋藤 雅樹
マネジャー	加藤 徹
背番号	選手名
主将8	山下 稜平
1	岡田 陸
2	阿部 壮太
3	神崎 慧
4	浅古 竣太
5	長沢 知弥
6	大日向 克海
7	山野辺 凌己
9	栗田 裕賀
10	福地 優人
11	峯崎 奎汰
13	螺良 鈴伊貴
14	川島 諒亮
15	服部 海斗
16	大草 裕哉
17	阿久津 涼
19	金子 修大
20	茂呂 友暉
21	堀越 風輝
22	大竹 一成
23	飯塚 大輝
24	柿沼 奨
26	織田 隼斗
27	田野 敢大
28	小島 捷平

栃木県支部 宇都宮中央ボーイズ	
代 表	田辺 行彦
監 督	涌井 博之
コーチ	涌井 翔太
マネジャー	三与木 正仁
背番号	選手名
主将6	小林 祐輝
1	三与木 龍成
2	本島 熙己
3	齊藤 俊明
4	佐藤 亮斗
5	瀬崎 春夏
7	山内 貴広
8	樋山 健人
9	桑名 日向
10	四の宮 奨悟
11	村上 雷人
12	大橋 和馬
13	根本 雄太
14	滝田 海斗
15	中村 真人
16	村山 憲紀
17	星野 弘熙
18	饗庭 陽生
19	渡邊 健太
20	横山 陽樹
21	篠澤 緑空
22	高瀬 翔太
23	原田 亘輝
24	奥山 宥記
25	平山 大智

茨城県支部 筑西田宮ボーイズ	
代 表	杉山 貞雄
監 督	岩崎 成美
コーチ	手塚 幸一
マネジャー	菊地 妃砂子
背番号	選手名
主将 4	永盛 竜次
1	谷内 真
2	國田 恵吾
3	古橋 大輝
5	栗原 賢人
6	飯岡 蓮
7	鈴木 啓斗
8	高田 彰久
9	猪瀬 光汰
10	菊地 優弥
11	鈴木 寛人
12	倉持 晃貴
13	大関 駿
14	保坂 星也
15	清水 凌
16	樋口 勇次朗
17	下条 開夢
18	草間 洸世
19	荒井 颯汰
20	小林 登和
21	宗形 侑悟
22	南木 康弥
23	石塚 和輝

山梨県支部 山梨ボーイズ	
代 表	保坂 富雄
監 督	保坂 誠人
コーチ	中村 和夫
マネジャー	長田 健太
背番号	選手名
主将3	大石 城
1	三浦 恭輔
2	鈴木 匡磨
4	金丸 大輝
5	向山 承慶
6	長田 竜輝
7	丸山 拓実
8	中村 俊介
9	前田 尚輝
10	手塚 晴紀
11	小林 柊太
12	宮下 翔斗
13	岩森 佑紀
14	深澤 優海
15	三枝 俊太
16	外川 大翔
17	乙黒 宏太
18	深澤 健斗
19	新田 壤人
20	浅野 裕紀

埼玉県支部 川越ボーイズ	
代 表	野崎 国男
監 督	梶 勝也
コーチ	関根 剛
マネジャー	野崎 昌康
背番号	選手名
主将7	若林 衛
1	鹿山 聖人
2	矢島 智也
3	成瀬 海世
4	滝沢 健太
5	下沢 慎吾
6	岡本 直希
8	高橋 潤也
9	藤井 優也
10	平山 廉
11	無田 康生
12	井上 寛大
13	上島 昂
14	近藤 慎太郎
15	広瀬 一輝
17	五十嵐 賢太郎
18	中武 駿
19	田口 和馬
23	工藤 航
24	向井 健人

栃木県支部 大田原ボーイズ	
代 表	奥田 美弘
監 督	小川 翔
コーチ	館林 貴之
マネジャー	小山田 尚史
背番号	選手名
主将6	野口 悟空
1	日笠 彩輝
2	山田 智彦
3	西崎 海翔
4	山下 航希
5	鈴木 純一郎
7	大金 智稀
8	菊地 亮介
9	室井 和志
10	星野 魁斗
11	土屋 拓幹
12	沼野井 颯介
13	鈴木 海翔
14	宇田 堅斗
15	横倉 大翔
16	金子 和弥
17	磯野 桜汰
18	岡 大翔
19	石崎 正剛
20	鈴木 湧翔

開 会 式

平成27年5月17日（日）8:00～ 佐野市運動公園野球場（赤見）

1. 選手入場
2. 国旗掲揚
3. 開会宣言 日本少年野球連盟栃木県支部
4. 優勝旗返還
5. 主催者あいさつ
大会会長 佐野市長 岡部正英
日本少年野球連盟栃木県支部長 飯田研二
6. 来賓祝辞
参議院議員 上野通子
佐野市議会議長 山口 孝
7. 来賓紹介
8. 石井琢朗氏からのメッセージ披露 石井琢朗
9. 選手宣誓
10. 審判諸注意
11. 選手退場

閉 会 式

平成27年5月24日（日）決勝戦終了後

佐野市運動公園野球場決勝戦に残った2チーム

1. 成績発表
2. 表彰
3. 主催者挨拶 日本少年野球連盟栃木県支部長 飯田研二
4. 国旗降納
5. 閉会宣言 日本少年野球連盟栃木県支部
6. 選手退場

※石井琢朗さんより各チームにボールバッグのプレゼントがあります。



(写真提供 サンフィールド)

